

令和6年度 大台ヶ原の利用に関する協議会
開催概要

■日時 令和7年2月12日(水) 14:00~16:00

■場所 奈良県社会福祉総合センター 6階 中会議室 / オンライン (Cisco Webex)

■出席者

機関	所属・氏名	出欠
林野庁近畿中国森林管理局	三重森林管理署 地域林政調整官 中島 富太郎	オンライン
	尾鷲森林事務所 地域統括森林官 岡浦 貴富	オンライン
奈良県知事公室地域振興部	奈良県美しい南部東部振興課 地域支援グループ 中西 清貴	○
奈良県環境森林部	景観自然環境課 課長補佐 染川 さおり	オンライン
	景観自然環境課 主任技能員 田垣内 政信	オンライン
奈良県県土マネジメント部	吉野土木事務所 工務第二課 係長 花田 翔太	○
	吉野土木事務所 用地・管理課 課長 光原 昌	○
三重県農林水産部	みどり共生推進課 自然公園班 主査 山本 和史	オンライン
上北山村	企画政策課 主事 真下 修平	○
川上村	水源地課 課長 今福 和男	オンライン
	水源地課 主任 深堀 円	オンライン
	水源地課 主任 阪中 啓太	オンライン
大台町	産業課 主事 加納 匠	オンライン
上北山村議会	経済常任委員長 森脇 郁雄	(ご欠席)
上北山村観光協会	会長 高澤 昭一	(ご欠席)
上北山村商工会	経営指導員 金岩 修平	オンライン
一般社団法人奈良県猟友会 上北山支部	会長 新谷 五男	(ご欠席)
自然を返せ!関西市民連合	代表 田村 義彦	○
奈良県勤労者山岳連盟	自然保護委員長 中田 由美子	オンライン
	自然保護委員 高橋 まどか	オンライン
奈良県山岳連盟	会長 藤本 直民	○
近畿日本鉄道株式会社	大阪統括部運輸部営業課 花本 美孝	(ご欠席)
奈良交通株式会社	乗合事業部 課長 中谷 真吾	オンライン

機関	所属・氏名	出欠
公益社団法人日本山岳会関西支部	自然保護委員長 斧田 一陽	○
	中久保 忠信	○
一般社団法人 森人ネット	理事 岩本 泉治	オンライン
大台ヶ原パークボランティアの会	会長 雲田 紘	(ご欠席)
一般社団法人 心・湯治館	代表理事 城内 勲	○
ワーク21上北山	会長 福嶋 啓一	○
大台・大峯植生談話会	会長 横田 岳人	オンライン
三重県山岳・スポーツクライミング連盟	大台山倶楽部 代表 保田 利博	○
一般社団法人大阪府山岳連盟	常務理事 田中 昭男	○
一般社団法人ツーリズムかみきた	事務局長 橋本 誠司	(ご欠席)

<環境省近畿地方環境事務所>

機関	所属・氏名	出欠
近畿地方環境事務所	統括自然保護企画官 八元 綾	○
	国立公園課 課長補佐 平野 淳	オンライン
	国立公園課 国立公園利用企画官 高橋 明子	○
	自然環境整備課 課長 榎本 和久	オンライン
	自然環境整備課 課長補佐 石月 聖文	オンライン
	自然環境整備課 岡島 広周	オンライン
吉野熊野国立公園管理事務所	所長 加藤 麻理子	オンライン
	国立公園管理官 楊木 萌	オンライン
吉野管理官事務所	国立公園管理官 安藤 滉一	○
	生態系保全等専門官 丸毛 絵梨香	オンライン
	自然保護官補佐 濱田 菜月	○

<受託事業者>

機関	所属・氏名	出欠
有限会社OM環境計画研究所	代表 大森 淳平	○
	研究員 杉山 拓次	○

<オブザーバー>

機関	所属・氏名	出欠
株式会社KANSOテクノス	マネージャー 樋口 高志	○
	リーダー 保延 香代	○
大台ヶ原ビジターセンター	福嶋 千草	オンライン
	平山 竜太郎	オンライン

■議事等

1. 開会
2. 議事
 - (1) 大台ヶ原の利用動向等に係る報告
 - (2) 令和6年度事業実施結果報告（構成機関からの取組報告含む）
 - (3) 令和7年度西大台利用調整地区の運用計画について【協議】
 - (4) 大台ヶ原登録ガイド限定プログラムについて
 - (5) 吉野熊野国立公園西大台利用調整地区利用適正化計画の改訂について
 - (6) 大台ヶ原周回線道路（歩道）の改修について【報告】
 - (7) その他
3. 閉会

■配布資料

- ・議事次第
- ・出席者名簿
- ・資料1－1 大台ヶ原の利用動向に関する調査結果
- ・資料1－2 西大台利用調整地区の利用者意識に関する調査結果
- ・資料1－3 大台ヶ原における適正利用推進上の課題
- ・資料2 令和6年度事業実施結果報告（持続可能な利用の推進）
- ・資料3 令和7年度西大台利用調整地区の運用計画（案）
- ・資料4－1 令和7年度登録ガイド限定プログラム運用計画（案）
- ・資料4－2 大台ヶ原登録ガイド限定プログラムの本格運用に向けたスケジュール案
- ・資料5－1 吉野熊野国立公園西大台地区利用適正化計画改訂について
- ・資料5－2 吉野熊野国立公園西大台地区適正化計画 改訂の方針について
- ・資料6 大台ヶ原周回線道路（歩道）の改修方針と今後の進め方について
- ・参考資料1 令和6年度大杉谷登山道の利用状況等について（大台町）
- ・参考資料2 令和6年度大台ヶ原登録ガイド限定プログラム試行ツアー報告
- ・参考資料3 令和7年度利用調整カレンダー
- ・参考資料4 令和6年度大台ヶ原登録ガイド限定プログラム現地説明会報告
- ・参考資料5 平成25年度西大台地区利用適正化計画
- ・参考資料6 大台ヶ原におけるツキノワグマへの出没状況等について

令和6年度 大台ヶ原の利用に関する協議会 議事概要

(1) 大台ヶ原の利用動向等に係る報告

- ・資料1-1～1-3をもとに、令和6年度の大台ヶ原及び西大台利用調整地区の利用状況や経年変化、西大台利用調整地区の利用者に対する意見聴取の結果、適正利用上の課題について事務局より報告した。

◆主な質問・ご意見

- ・質問・ご意見は特になかった。

(2) 令和6年度事業実施結果報告（構成機関からの取組報告含む）

- ・資料2をもとに、令和6年度の大台ヶ原における持続可能な利用の推進に係る事業実施結果について、事務局より報告した。
- ・上北山村より、令和6年度の大台ヶ原の冬季利用の取組みについて報告。
- ・令和6年度より奈良交通株式会社と官民連携の取り組みを開始した。今年度は告知が遅かったが、次年度も引き続き取り組みを進めていきたい。（上北山村）
- ・三重県大台町より、参考資料1をもとに、令和6年度の大杉谷登山道の利用状況等について報告。
- ・奈良県吉野土木事務所より、令和6年度の通行止めの状況等を報告。
- ・令和6年4月1日～24日まで国道169号線の西原にて通行止め、大台ヶ原川上線において7月12日～25日までの通行止めがあった。また、次年度は、4月18日の15時まで冬季通行止め期間となる。（奈良県吉野土木事務所）

◆主な質問・ご意見

- ・山の会で大台ヶ原を利用するので、ツキノワグマの出没情報を詳しく教えていただいている。ツキノワグマの出没状況に関する情報について、ホームページの情報や出没位置図を会報等に掲載させていただけるとありがたい。（奈良県勤労者山岳連盟）
 - ツキノワグマの情報については、ホームページ等に掲載する形をとっているが、それ以外の広域エリアについては、各自治体で公表されている場合がある。
 - 環境省のホームページであれば引用元の記載で掲載いただいても問題ないが、各自治体等の情報については別途確認をいただきたい。（環境省）
- ・ホームページの掲載情報について10年ほど更新がされていない。委員会資料についても更新がない。歴史的な経緯を理解するためにも必要なので、更新を行って欲しい。（自然を返せ！関西市民連合）
 - ホームページ改修を進めているので、完了次第、報告をさせていただく。（環境省）

(3) 令和6年度西大台利用調整地区の運用計画について【協議】

- ・資料3をもとに、令和7年度西大台利用調整地区の運用計画について事務局より説明した。

本協議会の中で合意を得て、運営計画は原案通りで決定となった。

◆主な質問・ご意見

- ・質問・ご意見は特になかった。

(4) 大台ヶ原限定プログラムについて

- ・資料4-1、4-2をもとに、大台ヶ原登録ガイドによる限定プログラムの令和7年度の運用計画案、および令和8年度の本格運用に向けた計画について事務局より説明した。

◆主な質問・ご意見

- ・限定プログラムで入山者に貸与する腕章は、これまでビジターセンターで調査業務を行う事業者や研究者向けに貸与していた腕章と同様のものを貸与するのか。(株式会社 KANSO テクノス)
 - 現在、調査事業者や研究者に貸与している腕章は、自然公園法の適用除外であることを示すものであり、転用すると誤認やトラブルの可能性があるので、限定プログラムのツアー参加者と一目でわかるものを作成予定である。一般の利用者が見た際にわかりやすく、かつPRに資するものとした。(環境省)
- ・腕章貸与に関する管理簿等もビジターセンターで対応するという理解でよいか。(株式会社 KANSO テクノス)
 - 詳細な運用については、相談しながら調整を行いたい。持ち帰りや不正利用への対応が必要と考えている。(環境省)

(5) 吉野熊野国立公園西大台利用調整地区利用適正化計画の改訂について

- ・資料5-1、5-2をもとに、西大台利用調整地区利用適正化計画の改訂および改訂の方針について事務局より説明した。

◆主な質問・ご意見

- ・例にあるような「歩道以外への立ち入りを検討する」といった文言は不要であるとする。
 - 一旦歩道外への利用を認めると、拡大していく恐れがある。計画には基本となる部分だけ記載し、防鹿柵内への立ち入り等は例外事項に留めておくべきではないか。現行の法制度に合わせる等は必要だと思う。3月中に意見を集めるということなので、その際に検討いただきたい。(自然を返せ！関西市民連合)
 - 後日素案をお示しするので、ご意見をいただきたい。(環境省)
- ・歩道外への立ち入りの目的は、どのようなことか。(三重県山岳・スポーツクライミング連盟)
 - 自然再生の取り組みを一般利用者に知ってもらうことである。これまで景色が綺麗だけであった大台ヶ原を、ガイドが帯同することによって、歴史的背景や自然再生の取り組みを周知することにつながると考えている(環境省)
- ・コース外に入ることで、現状と何が違うのか。(三重県山岳・スポーツクライミング連盟)
 - 防鹿柵の内外で植生の様子が大きく異なることや、自然再生の取り組みの成果を目の当

たりにできる。(環境省)

- ・林業に関わっているが、高校生に現場の活動について話をすると非常に関心を持って聞いてくれる。大台ヶ原でも高校生や地元の学校に来てもらい、研修をしてもらうといったことはあるか。(三重県山岳・スポーツクライミング連盟)

→環境教育の側面と捉えているが、今年度も学校から依頼があり、柵の中へ入っていただいて自然再生の取り組みを説明した。柵の内外の違い等について体感して、高校生も勉強になったと聞いている。西大台は東大台とは異なる植生の回復なども見られ、環境教育につながると考えており、教育的な利用についても考えていきたい。(環境省)

→自然に関心を持ってもらう人が増えることは、非常に良い。歩道外でない道でもいろいろできるので、そういった点についても検討いただきたい(三重県山岳・スポーツクライミング連盟)

- ・防鹿柵の中で植生が繁茂していることを是とする意見のように聞こえるが、防鹿柵はシカを遠ざけるために作ったものであり、植生回復を目的に設置したわけではない。本来の意図に立ち返って考えるべきである。(自然を返せ！関西市民連合)

→防鹿柵を設置した理由についても説明は行う。また、その是非についても学生に考えていただく良い機会と考えている。(環境省)

→なぜ防鹿柵を作らなくてはいけなかったのか、防鹿柵を作った結果どのようなのかを体験を通じて知っていただく、感じていただくのは非常に良いと思う。(奈良県勤労者山岳連盟)

- ・防鹿柵は食害を防ぐためにあるのか。あまり景観が良くない。(三重県山岳・スポーツクライミング連盟)

→人工物がたくさんある風景となっているが、柵がなければ後継樹も育たず笹のみの風景となる。いろいろな先生方や地域の方々にお話を聞きながら、長年自然再生事業に多くの人や予算を注ぎ込んできており、他でもあまり事例がない。そうしたことも踏まえて、大台ヶ原という素晴らしい場所を知っていただける工夫をしていきたいので、いろいろなご意見をいただきたい。(環境省)

- ・大台ヶ原の自然再生計画は、これまでにかなりの税金をかけて行っている。かつて委員であったが、その努力はほとんど実らなかった。防鹿柵の中で植生は回復したが、自生の稚樹はそう多くない。防鹿柵の外で600本~1000本近い稚樹が生えている。その意味では、防鹿柵の効果は実っていない。そのため、防鹿柵に人を入れて、植生の回復など効果があると説明するのは、論点のすり替えのように感じる。どのように説明をするのかは、環境省でしっかりと整理した上で、登録ガイドに伝える必要がある。(自然を返せ！関西市民連合)

→防鹿柵内が必ずしも想定している回復が見られるとは言い切れないという点についてはガイドにも理解いただき、ありのままの現実を解説してもらおうと考えている。(環境省)

→大台ヶ原の取り組みは、自然は「あるもの」ではなく「守らないといけない」時代に生きているということを知ってもらうために、ありのままを見てもらうのが良いと思うので、いろいろ試してみても良いのではないかと。その結果を持って、この場で議論してはどうか。(奈良県勤労者山岳連盟)

→そのように進めていく。間違った認識にならないよう伝え方の部分を整理していきたい。

(環境省)

(6) 大台ヶ原周回線道路(歩道)の改修について【報告】

- ・資料6をもとに、大台ヶ原周回線道路(歩道)の改修にあたっての改修方針と今後の進め方(スケジュール)について報告をした。

◆主な質問・ご意見

- ・質問・ご意見は特になかった。

(7) その他

- ・その他、各構成団体から質問・意見等を伺った。

◆主な質問・ご意見

- ・今年度にガイド講習会の件を関係者へ共有したところ、ガイドになるわけではないが、大台ヶ原について学びたいという方がいて、参加申し込みをしたが、要領を得ず断られたということがあった。山岳会などでは、団体で活動している担当者がリーダーとなり山行を行うため、興味がある方へ傍聴の機会など作っていただけると、利用の促進にもつながると思うので検討いただきたい。(公益社団法人日本山岳会関西支部)

→ご意見いただいた内容については、検討できればと思う。(環境省)

- ・外国人が大台ヶ原にどの程度登山・観光で訪れているのか。その注目度について、お聞かせ願いたい。(一般社団法人大阪府山岳連盟)

→ビジターセンターのスタッフへのヒアリングから、外国人の利用者数の実数として把握することは難しいが、増加傾向にあると伺っている。(受託事業者)

◆その他の意見・情報共有

- ・今年度の大台ヶ原自然再生委員会を3月4日の実施を予定している。場所は橿原市を予定しており、具体的な場所等はプレスリリースをご確認いただきたい。今年度の事業の結果と来年度計画について、ならびに、現在、中間評価として自然再生事業の2014年からの10年間の評価をしているので、その検討をしていただく。(環境省)
- ・参考資料6をもとに、大台ヶ原におけるツキノワグマの出没状況等について情報共有。(環境省)